

令和2年度
2020年度
事業計画

社会福祉法人めぐみ学園
日の出保育園

テーマは、「振り返り」

自己評価を受けて

令和元年度の自己評価では、概ね、肯定的な評価が得られました。みんな
で同じ方向を目指して取り組んだ結果です。しかし、課題は顕著です。

落ち着いた環境 安心の給食づくり 「安心」「安定」

園内外の落ち着いた環境整備、安心の給食提供。当たり前のようですが、
何の落ち度やトラブルもなく進められたことは、「安心」「安定」を掲げる保
育園として、確かな成果です。

“見える化”

また、4月来、各クラスでは、写真などを取り入れ、保育の“見える化”に
取り組んでくださいました。5月の保育参加日では、保護者に対し、はじめ
て経営方針等を説明する機会を持つこともできました。

“あそび”と 「十の育ちの姿」

主題として掲げた「“あそび”と十の育ちの姿」は、どうでしょうか。

- ① 遠足雨天時の臨機応変な対応
- ② 焼きりんごや焼き芋などの野外クッキング
- ③ 収穫祭を兼ねた縁日ごっこ
- ④ 鮭を題材にした新たな食育の展開
- ⑤ 模造紙を使った異年齢による集団画
- ⑥ 職員からの発案で実現した「絵本ライブ」の企画
- ⑦ 各クラスの生き生きとした作品づくり

新しい展開

これらイベントばかりではありません。従来の取組をもとに、子どもに新
たな体験をとの着想から、様々な展開を形にしてくださいました。

“あそび” 園内研修の成果

何よりも、12月に実施した園内研修では、“あそび”について、各クラスの
事例を持ち寄り、主体的な遊びを展開する上で、保育士の関わりはどうある
べきか、グループワーク形式で学び合い、実りの多い研修になりました。

主体的な“あそび”

日常の保育を振り返ることによって、新たな“気づき”が生まれ、それを形
にして実現させた取り組みの数々。主体的な“あそび”の展開を目指し、試行
錯誤しながら実践を重ねてくださったことでしょう。

キーワードは “振り返り”

令和2(2020)年度は、これらの成果を共有し、さらなる経営方針の具体化
を目指します。そのキーワードは、“振り返り”です。

日常保育、子ども一人一人への関わり、保護者支援の在り方はもちろん、
職員間の信頼関係づくり、連携の在り方、そして、自分自身への振り返り。

その“気づき”を形にできる認め合う職場づくり。そのやりがいがある日の出保
育園に関わるすべての人の笑顔につながると信じます。

私たちは、「笑顔の応援団」ですから。

日の出保育園 経営方針

1 保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人に、思いやりの心を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、保護者と保育者が一体となり、「安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって、保育園が家庭と同じように心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めたい。

- “安心”とは、
保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心できる保育園であること
- “安定”とは、
保育者の視線が、子どもに注がれ、常に、質の高い保育サービスを提供できる保育園であること

3 めざす姿

- 保育園 『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』の保育園
- 子ども【生き抜く力】
 - ・自分の考えを話せる子ども
 - ・友だちと仲よく遊べる子ども
 - ・最後までやりとげる子ども
- 保育者
 - ・笑顔で子ども、保護者に接する保育者
 - ・子ども一人一人の育ちに気づき、実践を重ねる保育者
 - ・前例踏襲に逃げず、知恵を出し合い工夫改善を続ける保育者
- 三つの姿とめあて

保育園 子ども	笑顔いっぱい	元気いっぱい	友だちいっぱい	保育者	保育指針 育ちの姿(10項目)
自分の考えを 話せる子	話をしっかり聞こう	元気なあいさつと返事をしよう	気持ちをはっきり伝えよう	一往復半の仕掛け	思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
友達と仲よく 遊べる子	工夫して遊ぼう	体を使って遊ぼう	みんなと遊ぼう	遊びづくりの黒子	健康な心と体 協働性 道徳・規律意識の芽生え 社会性との関わり
最後まで やり遂げる子	できることをいっぱい増やそう	自分でやってみよう	みんなで作ってみよう	ほめの達人	自立心 数量・図形、文字等 自然との関わり・生命の尊重

4 運営の基本

【保育】

- (1) 保育指針に則り、保育の質の充実を図り、保育目標を具体化する。〔全体的な計画〕
- (2) 豊かな経験の機会を通して、「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。〔育ちの姿〕
- (3) 心と体の健やかな成長を支え、基本的な生活習慣の定着を図る。〔基本的な生活習慣〕
- (4) 一人一人が認められ、大切にされる温かなクラス経営をすすめる。〔個性の伸長〕
- (5) 専門性の向上に努め、質の高い保育実践をすすめる。〔専門性〕

【組織・運営】

- (6) 保護者の願いや期待を受け止め、子育て支援の充実を図る。〔保護者支援〕
- (7) 情報発信を通して、家庭や地域、学校をはじめ関係機関との連携を図る。〔連携・共生〕
- (8) 自己評価等を通し、計画的に保育サービスの改善を図る。〔振り返り〕
- (9) 社会福祉法人として法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。〔危機管理〕
- (10) 新しい挑戦を受け留め、やりがい共有できる職場づくりを進める。〔職場づくり〕

5 重点となる推進事項

【保育】

〔全体的な計画〕 保育指針に則り、保育の質の充実を図り、保育目標を具体化する。

- (1) 月案・週案を生かし、**体験を通し多様で変化のある学び**の機会を工夫する。
- (2) **「あそび」と「十の育ちの姿」を念頭に、日々の実践を振り返る。**
- (3) **「全体的な計画」を理解し、実践との関連を意識する。**

〔育ちの姿〕 豊かな経験の機会を通して、「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。

- (1) **子どもの主体的な工夫によって「あそび」の展開を楽しめるように支援する。**
- (2) 個人の記録、作品、写真などを蓄積し、**育ちの姿を見える化**する。
- (3) 「なかよし保育」や外部講師など、多様な人材を活用し、**「本物に触れる」機会を工夫**する。

〔基本的な生活習慣〕 心と体の健やかな成長を支え、基本的な生活習慣の定着を図る。

- (1) 基本的な生活習慣の定着は、**子ども自ら**が取り組むことを基本に、「待ち」の姿勢で支援する。
- (2) **一人一人の育ち**に応じた食事、睡眠、排泄、清潔、衣服の着脱などの繰返し指導を行う。
- (3) 配慮を要する子どもに対し、保護者との連携の下、**全職員**で共通した支援体制で取り組む。

〔個性の伸長〕 一人一人が認められ、大切にされる温かなクラス経営をすすめる。

- (1) **子どもの育ちに合わせ「日の出スタンダード**(例：挨拶、返事、聞く姿勢など)」に取り組む。
- (2) できたことを認め、**成就感、達成感、有用感**を味わわせ、**自他を大切に**する素地を育てる。
- (3) 役割交替、役割分担によるチーム保育を進め、子どもを**多面的に**支援する。

〔専門性〕 専門性の向上に努め、質の高い保育実践をすすめる。

- (1) キャリアアップなど、園外研修を通して専門性の向上に努め、**研修成果を実践に結び付ける。**
- (2) 園内研修は、保育に係る緊要な課題のほか、事例研究を通じた**実践的な内容を工夫**する。
- (3) 年度当初に設定する自己目標を振り返り、自己研鑽し、日常実践に努める。

【組織・運営】

〔保護者支援〕 保護者の願いや期待を受け止め、子育て支援の充実を図る。

- (1) 送迎時の声かけ、便り、ボード、連絡帳などを活用し、**情報共有による信頼関係づくり**に努める。
- (2) 保育参加、参観、面談、各種行事などを生かし、**保護者の声に耳を傾け**、園運営の改善に生かす。
- (3) 相談には、親身で迅速な対応を心がけ、内容の軽重を問わず、職員間の「**報告・連絡・相談**」をとおして、組織として対応する。

〔連携・共生〕 情報発信を通して、家庭や地域、学校をはじめ関係機関との連携を図る。

- (1) 学校訪問や教員との情報交換など、小学校との連携の形を継承し、円滑な接続に生かす。
- (2) HPや便りによる情報発信、行事の公開や職業体験の受け入れなど、地域における公益的な役割を果たす。
- (3) 関係機関等の専門性を活用し、**緊密な連携の下、諸課題の解決につなげる。**

〔振り返り〕 自己評価等を通し、計画的に保育サービスの改善を図る。

- (1) 園運営の評価から課題を整理し、目に見える改善策に取り組む。
- (2) **満足度**の高い保育園を実現するため、評価結果、改善点等を園だより、HPで公表する。
- (3) “振り返り”〔評価(check)－改善(action)－計画(plan)－実施(do)〕を基本に、**スピード感**をもって創意工夫する。

〔危機管理〕 社会福祉法人として法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。

- (1) 一人一人の「**ヒヤリハット**」を共有し、日常の安全管理の意識を高める。
- (2) 子どもの命を最優先に、防災、アレルギー、感染症など最新情報に基づく運営に努める。
- (3) 会計処理、文書管理、個人情報の保護など、社会福祉法人として**関係法令を遵守**する。

〔職場づくり〕 新しい挑戦を受け留め、やりがい共有できる職場づくりを進める。

- (1) 諸会議の持ち方、職員面談、日常的な情報交換などを通じて、**現場の声**を適切に把握する。
- (2) **職員個々の“気づき”が生かされる運営組織**、業務の整理と統合、効率化に取り組む。
- (3) 個々の事情を尊重し合い、「ありがとう！」あふれる職場づくりを目指す。

平成31年度 日の出保育園の運営にあたって

II 事業予定

I 事業予定

月	日	曜	行 事 等	月	日	曜	諸 会 議 関 係
4	1	水	令和2年度進級・入園式				
	14	火	身長・体重測定 内科検診 歯科検診				
	21	木	4月誕生会				
5	1	金	子どもの日お楽しみ会				
	11	月	運動能力測定				
	16	土	保育参加日	5	15	金	令和元年度第4回監査会
	20	水	5月誕生会		22	金	令和2年度第1回理事会
6	4	木	遠足				
	18	木	6月誕生会	6	12	金	令和2年度第1回評議員会
7	1	水	運動会総練習				
	4	土	運動会(日の出小学校)				
	7	火	保育参加ウィーク(~7/9)				
	10	金	遠足				
	15	水	7月誕生会				
8	5	水	夏まつり				
	7	金	七夕				
	21	金	ぶどう組おとまり保育(~22)	8	19	水	第1回監査会
	27	木	8月誕生会		27	木	第2回理事会
	31	月	個人懇談(8/31~9/4、7~11)				
9	3	木	消防署見学				
	18	金	9月誕生会				
10	1	木	リンゴ狩り(以上児) 内科検診 歯科検診				
	15	木	10月誕生会				
11	4	水	生活発表会総練習(・5)				
	7	土	生活発表会				
	19	木	11月誕生会				
12	1	火	Week(~3)				
	8	火	もちつき	12	16	水	第2回監査会
	16	水	12月誕生会	12	24	木	第3回理事会
	25	金	クリスマス会				
1	6	水	保育開始				
	15	金	雪中運動会(以上児)				
	27	水	1月誕生会				
2	3	水	節分				
	9	火	2月誕生会				
	20	土	ぶどう組親子レク				
3	3	水	ひなまつり				
	11	木	買い物ごっこ				
	16	火	3月誕生会	3	17	水	第3回監査会
	24	水	卒園式総練習		25	木	第4回理事会
	27	土	令和2年度第50回卒園式				
4	1	木	令和3年度第51回進級・入園式				
				5	14	金	令和2年度第4回監査会
					21	金	令和3年度第1回理事会
				6	11	金	令和3年度第1回評議員会

2 「なかよし ほいく」

なかよしほいく	対 象	実施回数等
もじや かずと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	年間 15~20 回程度
たいいくと なかよくなるろう	以上児	月 1 回
えいごと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	月 2 回 (れもん・ぶどう組各 1 回)
ボールと なかよくなるろう	ぶどう組	月 1 回
クッキングと なかよくなるろう	いちご組以上	年数回
ほんと なかよくなるろう	全クラス	随時
うたや りずむと なかよくなるろう	全クラス	随時

3 園児数

区分	クラス名	在 籍 数		合 計	移園児等内数	参 考 昨年度末
		男 子	女 子			
0 歳児	さくらんぼ	3	5	8	新入 8	8
1 歳児	もも	7	10	17	新入 5、移園 2	18
2 歳児	いちご	7	11	18	新入 1	20
3 歳児	りんご	6	14	20	新入 3、移園 1	22
4 歳児	れもん	7	15	22		15
5 歳児	ぶどう	5	10	15	新入 1	22
合 計		35	65	100	新入 18、移園 3	105

※ 令和 2 年 4 月 1 日現在